

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 大正大学 実施報告書



実施主体 アーバン福祉学科ソーシャルワーク専攻2年生

実施内容 平成25年10月24日 駅や商店街、区民ひろばにて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・オレンジリボンの由来や児童虐待の現状を学生たちが各自で調べた。
- ・ソーシャルワーク演習5クラスに15のグループに分かれ、調べてきたことをまとめ、何を伝えたいのか意図が理解できるように工夫しながら15枚のポスターを作成した。
- ・オレンジリボンを学生たちで500個を制作した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ①オレンジリボン600個の配布
- ②啓発物(A4リーフレット500枚、児童相談所全国共通ダイヤル照会しおり500枚)の配布
- ③作成したオリジナルティポスターの説明
- ④大学キャンパス内にA3ポスターの掲示
- ⑤実施終了後に学生の感想を学科ブログに掲載

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

・オレンジリボンや啓発物を配布することができ、住民の生の声を聴くことができて良かった。

・実施場所によって、受け入れの差が出ていた。学生にとって、社会の現実を理解する良い機会になった。

・今後は、買い物中・活動中のところで配布する際には、工夫が必要である。

・今回は高等学校での模擬講義でオレンジリボンの由来や児童虐待の実態を説明したが、今後は小中高校においてもオレンジリボン運動を行うと良いと考える。

